

Ver 1.1

オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく
温室効果ガス吸収プロジェクト計画書

プロジェクト名	秋田県県有林J-VERプロジェクト
プロジェクト 代表事業者名	秋田県知事 佐竹 敬久



提出日2010年 9月21日
受理日 2010年 9月21日
最終版提出日2010 年10月8日

A:参加者情報			
プロジェクト代表事業者 ※1			
事業者名(フリガナ)	秋田県(アキタケン)		
住所	〒010-8570 秋田県秋田市山王四丁目1-1		
代表者氏名	秋田県知事 佐竹 敬久	担当者氏名	富樫 均
担当者所属	農林水産部 森林整備課	担当者役職	副主幹
担当者 E-mail	Togashi-Hitoshi-089@pref.akita.lg.jp	担当者電話番号	018-860-1741
プロジェクトでの役割	温室効果ガス吸収活動(間伐)実施および当該地のJ-VER取得		
プロジェクト事業者 ※2			
事業者名(フリガナ)	秋田県(アキタケン)		
住所	〒010-8570 秋田県秋田市山王四丁目1-1		
代表者氏名	秋田県知事 佐竹 敬久	担当者氏名	富樫 均
担当者所属	農林水産部 森林整備課	担当者役職	副主幹
担当者 E-mail	Togashi-Hitoshi-089@pref.akita.lg.jp	担当者電話番号	018-860-1741
プロジェクトでの役割	温室効果ガス吸収活動(間伐)実施および当該地のJ-VER取得		
プロジェクト参加者 ※3,4			
事業者名(フリガナ)			
住所			
代表者氏名		担当者氏名	
担当者所属		担当者役職	
担当者 E-mail		担当者電話番号	
プロジェクトでの役割			
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者 ※5			
事業者名(フリガナ)			

オフセット・クレジット (J-VER) 口座番号 ※6	
ダブルカウントの 防止措置を講ずる 事業者	秋田県
公的な報告・公表 制度	地球温暖化対策推進法に基づき策定した「秋田県地球温暖化対策地域推進計画」において、計画の進捗状況を毎年公表することと規定しており、これに基づき公表する。
自主的な報告・公 表対象	秋田県のホームページ「美の国あきたネット」で随時公表する。

- ※1:プロジェクト代表事業者のパンフレット等、事業内容の説明資料を別途添付すること。プロジェクト代表事業者以外の主なプロジェクト事業者・プロジェクト参加者についてもパンフレット等を添付すること。
- ※2:プロジェクト事業者とは、当該プロジェクトの実施に携わる者のうち、実際に温室効果ガス吸収活動を実施する者を指す。プロジェクト代表事業者と同一の場合は、その旨を記載すること。
- ※3:プロジェクト参加者とは、プロジェクト代表事業者・プロジェクト事業者以外に当該プロジェクトの実施に携わるすべての者を指す。
- ※4:プロジェクト参加者が複数いる場合には、それぞれの参加者の役割及び関係の概要を説明した資料を添付すること。
- ※5:オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者は、プロジェクト代表事業者、プロジェクト事業者、プロジェクト参加者のうちのいずれかであること。
- ※6:オフセット・クレジット(J-VER)口座番号は、口座未取得の場合は記入不要。
- ※7:オフセット・クレジット(J-VER)の発行がなされる場合、ダブルカウントを避けるための所要の措置をとる義務が生じる。詳細は、オフセット・クレジット(J-VER)制度利用約款を参照すること。

B:プロジェクト活動の概要①	
B.1 プロジェクト活動	項目
	<p>B.1.1 プロジェクトの目的及び内容</p> <p>秋田県西馬音内・仙道県有林持続的に管理するため、間伐が必要なスギ人工林において適期に間伐を実施し、森林の健全性を維持するとともにCO₂吸収量について、オフセット・クレジット(J-VER)を取得・販売し、その追加的資金を活用して、更に今後、必要な間伐、作業道の整備等を進めていく。</p>
	<p>B.1.2 プロジェクト実施前の状況</p> <p>【森林の現況(森林タイプ(人工林、天然林の区別等)及び樹種別の面積が含まれていること)】</p> <p>西馬音内・仙道県有林は、全体的に急傾斜地が多く、積雪量も多いため、森林の健全性維持のため特に計画的な保育が必要であり、これまで適切に間伐等を実施してきた。今後も持続的に健全性及びCO₂吸収機能を発揮していくため、適切に間伐を実施していく必要がある。</p>

(西馬音内・仙道県有林の樹種構成)

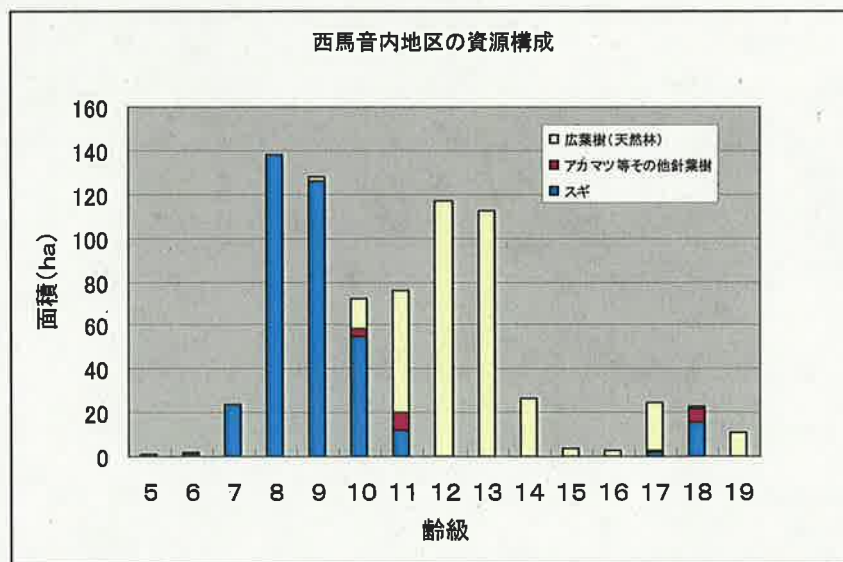
西馬音内地区の樹種構成 単位:ha

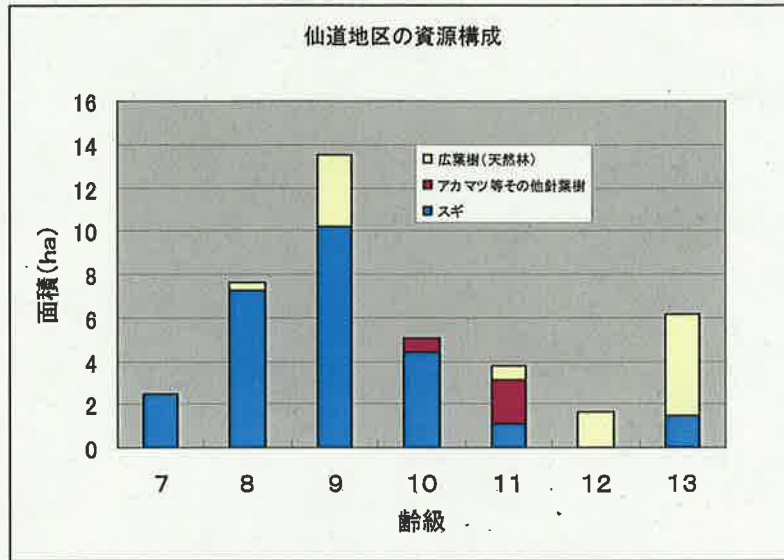
樹種	面積
スギ	374.11
アカマツ等その他針葉樹	19.81
広葉樹(天然林)	367.98
合計	761.9

仙道地区の樹種構成 単位:ha

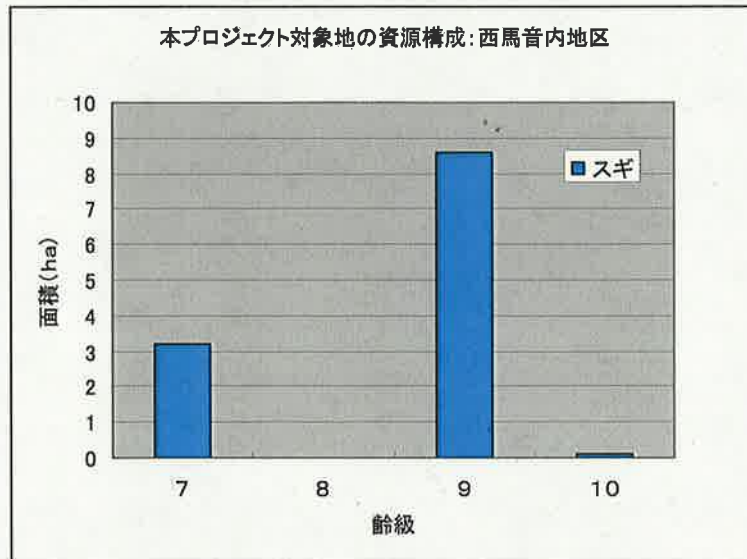
樹種	面積
スギ	27.06
アカマツ等その他針葉樹	2.65
広葉樹(天然林)	10.55
合計	40.26

(西馬音内・仙道県有林の資源構成)

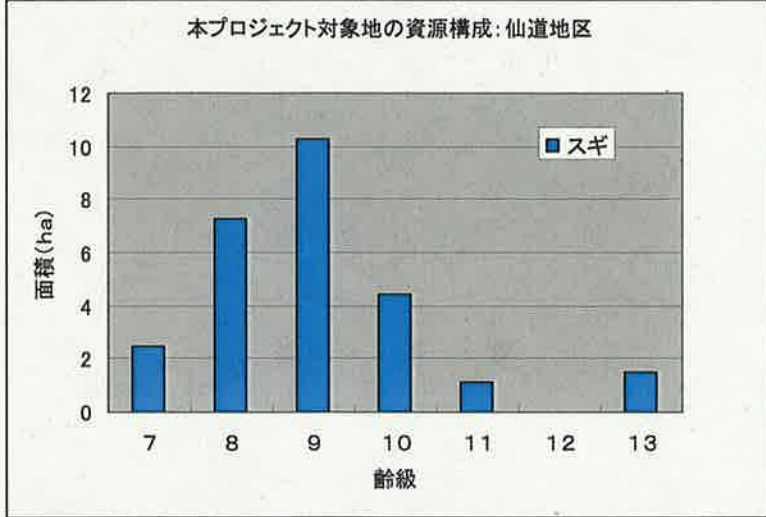




(本プロジェクト対象地の資源構成)

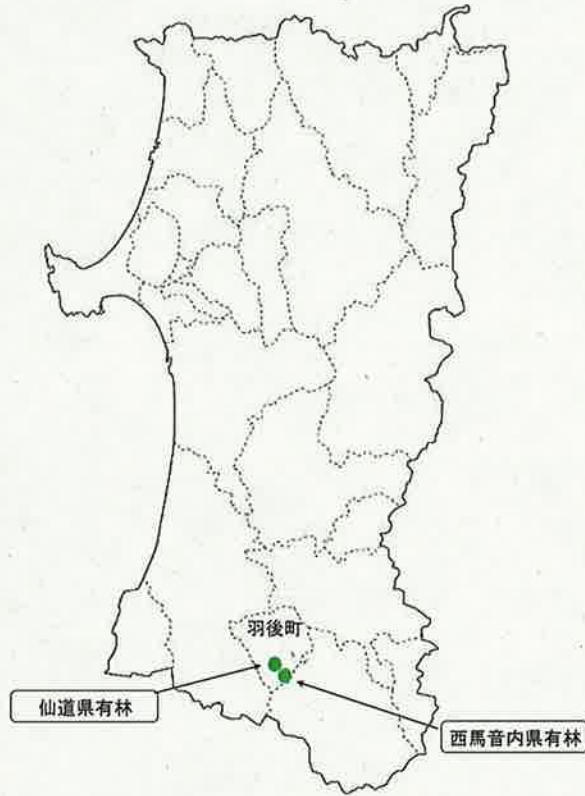


年齢級	7	8	9	10
スギ(ha)	3.18	0	8.6	0.1

	<p style="text-align: center;">本プロジェクト対象地の資源構成: 仙道地区</p>  <table border="1" data-bbox="363 792 1214 891"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>13</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スギ(ha)</td> <td>2.5</td> <td>7.29</td> <td>10.25</td> <td>4.4</td> <td>1.12</td> <td>0</td> <td>1.5</td> </tr> </tbody> </table>	年齢	7	8	9	10	11	12	13	スギ(ha)	2.5	7.29	10.25	4.4	1.12	0	1.5
年齢	7	8	9	10	11	12	13										
スギ(ha)	2.5	7.29	10.25	4.4	1.12	0	1.5										
	<p>B.1.3 排出削減・吸収の達成手段</p> <p>西馬音内・仙道県有林は、森林施業計画において、スギの標準伐期齢は50年とされており、また、羽後町森林整備計画において、間伐の標準的な実施林齢及び方法は、21年生・26年生・31年生・41年生の4回実施で、間伐率はおおむね15～32%とされている。</p> <p>プロジェクト実施地においては、林齢が42年生以上であっても林相が密であるため間伐が必要と判断された林分も含め、林齢31年生～63年生の林分において間伐率15～30%の定性間伐を実施する。</p>																
<p>B.2 採用技術</p>	<p>プロジェクトで使用する設備・機器等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間伐の実施: チェンソーなどの間伐作業等に使用する一般的な機器 ・間伐面積の測定: コンパス(牛方商会: 牛方式半円高度分度式) 測量(誤差5/100) ・プロット調査: 樹高の測定 Laser Technology社(アメリカ) TRUPULSE200 (計測高さ範囲: 0～1000m、平成20年度導入、法定耐用年数5年) 胸高直径 輪尺 																
<p>B.3 プロジェクト実施場所</p>	<table border="1" data-bbox="363 1424 1418 1675"> <tr> <td style="width: 150px;">実施事業所名</td> <td> ① 秋田県雄勝郡羽後町西馬音内地区 ② 秋田県雄勝郡羽後町仙道地区 </td> </tr> <tr> <td>住所</td> <td> ① 秋田県雄勝郡羽後町飯沢字登川堤10、11 ② 秋田県雄勝郡羽後町中仙道字小又45 </td> </tr> </table>	実施事業所名	① 秋田県雄勝郡羽後町西馬音内地区 ② 秋田県雄勝郡羽後町仙道地区	住所	① 秋田県雄勝郡羽後町飯沢字登川堤10、11 ② 秋田県雄勝郡羽後町中仙道字小又45												
実施事業所名	① 秋田県雄勝郡羽後町西馬音内地区 ② 秋田県雄勝郡羽後町仙道地区																
住所	① 秋田県雄勝郡羽後町飯沢字登川堤10、11 ② 秋田県雄勝郡羽後町中仙道字小又45																

概要

プロジェクト対象地となる西馬音内・仙道県有林のある羽後町は、秋田県内陸南部に位置する。



西馬音内・仙道県有林の位置図



B:プロジェクト活動の概要②							
B.4 プロジェクト期間		2010年 4月 1日 ~2013年 3月 31日 (3年 ヶ月)					
B.5 クレジット期間 ※1		2010年 4月 1日 ~2013年 3月 31日					
B.6 想定排出削減 ・吸収量 ※2	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO2			252	246	241	739
B.7 モニタリング報 告の頻度	年1回を予定						
B.8 補助金	受給の有無 (いずれかに○)	受給している / 申請中 / 検討中 / <input checked="" type="radio"/> 受給しない					
	補助事業名称						
	補助金額 (申請額含む)	円					
	補助対象年月日	年 月 日 ~ 年 月 日					
	補助金を受給している ことを証明する書類	(施業履歴及び林齢樹種ごとの実測面積の証跡として使用する補助金受給事業については、資料を必ず添付すること)					
B.9 他制度への申 請 ※3	申請の有無 (いずれかに○)	有 / <input checked="" type="radio"/> 無					
	制度名 (有の場合のみ)						
備考	本プロジェクトの対象地域において、県が委託した森林保全巡視員が定期的に森林火災、病虫害等の巡視を行い県に報告することでリスクの軽減を図る。						

※1:クレジット期間は、2008年4月1日~2013年3月31日の間で設定すること。

※2:想定排出削減・吸収量の算定根拠をモニタリングプランで提示すること。

※3:海外のVER制度や都道府県等のCO2吸収量認証等、類似制度への申請の有無を記入。これは、一つのプロジェクトによる排出削減・吸収量に基づくクレジットが複数創出される等の、ダブルカウントを避けるためである。

C:方法論の適用		
C.1 ポジティブリストの適格性基準との整合性	C.1.1 ポジティブリストの番号	No. R. 001 Ver.3.0
	条件	説明 ※1
	C.1.2 条件1	プロジェクト対象地は、森林法第5条に規定される地域森林計画対象森林に含まれる。 該当する地域森林計画:「雄物川地域森林計画」
	C.1.3 条件2	①プロジェクト対象地は、森林施業計画、空中写真で対象地の位置、間伐計画を確認し、森林施業計画内に収まっていることを確認した。 ②クレジット発行対象期間内に本プロジェクト対象地の森林施業計画書において転用及び主伐が計画されていない。 また、モニタリング、検証にあたって、伐採届を提出する。 ③間伐率は市町村森林整備計画の定めに従い、15～30%で実施する。 ④対象林分は、2010年度に間伐を行う林分を対象としている。
	C.1.4 条件3	森林施業計画は、羽後町森林整備計画に適合するものとして認定されている。森林整備計画の長期の方針に基づいて、適切な間伐、主伐後の再造林等を行い、持続的な森林経営を実施する。 森林施業計画 認定者:羽後町町長 大江 尚征 認定番号:羽21-4 計画期間:平成22年3月1日～平成26年2月28日
C.2 適用方法論	方法論番号	JRAM 001 Ver.3.0
	方法論名称	JRAM001-森林経営活動によるCO2吸収量の増大(間伐促進型プロジェクト)

C.3 適用するガイドライン等	C.3.1 ガイドライン等への準拠	(オフセット・クレジット(J-VÉR)制度モニタリング方法ガイドラインに準拠しない場合の説明)							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>準拠の説明</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 全く準拠しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 一部準拠しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 全て準拠する</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		準拠の説明	説明	<input type="checkbox"/> 全く準拠しない		<input type="checkbox"/> 一部準拠しない	
準拠の説明	説明								
<input type="checkbox"/> 全く準拠しない									
<input type="checkbox"/> 一部準拠しない									
<input checked="" type="checkbox"/> 全て準拠する									
		注) 全て準拠する場合は、説明は不要。							

	<p>C.3.2 ガイドライン等が複数ある場合の選択</p>	<p>(オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドラインのモニタリングパターンを選択する場合)</p> <table border="1" data-bbox="550 358 1404 1086"> <thead> <tr> <th>モニタリングパラメータ</th> <th>モニタリングパターン</th> <th>選択の理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">活動量</td> <td><input type="checkbox"/> 森林 GIS</td> <td rowspan="2">間伐面積の測定は、間伐区域を特定しやすく、精度の高い、コンパス測量を採用した。</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 実測</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">拡大係数</td> <td><input type="checkbox"/> 実測</td> <td rowspan="2">汎用性が高い「京都議定書3条3及び4の下での LULUCF 活動の補足情報に関する報告書」を採用した。</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">収穫予想表</td> <td><input type="checkbox"/> システム収穫表 (LYCS 等)</td> <td rowspan="2">秋田県民有林 スギ人工林収穫予想表等作成に関する基礎調査書(昭和55年3月 秋田県林務部) P. 161 地位級5を使用</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 選択理由の説明においては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、巻末の添付資料一覧に整理すること。</p>	モニタリングパラメータ	モニタリングパターン	選択の理由	活動量	<input type="checkbox"/> 森林 GIS	間伐面積の測定は、間伐区域を特定しやすく、精度の高い、コンパス測量を採用した。	<input checked="" type="checkbox"/> 実測	拡大係数	<input type="checkbox"/> 実測	汎用性が高い「京都議定書3条3及び4の下での LULUCF 活動の補足情報に関する報告書」を採用した。	<input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等	収穫予想表	<input type="checkbox"/> システム収穫表 (LYCS 等)	秋田県民有林 スギ人工林収穫予想表等作成に関する基礎調査書(昭和55年3月 秋田県林務部) P. 161 地位級5を使用	<input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)
モニタリングパラメータ	モニタリングパターン	選択の理由															
活動量	<input type="checkbox"/> 森林 GIS	間伐面積の測定は、間伐区域を特定しやすく、精度の高い、コンパス測量を採用した。															
	<input checked="" type="checkbox"/> 実測																
拡大係数	<input type="checkbox"/> 実測	汎用性が高い「京都議定書3条3及び4の下での LULUCF 活動の補足情報に関する報告書」を採用した。															
	<input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等																
収穫予想表	<input type="checkbox"/> システム収穫表 (LYCS 等)	秋田県民有林 スギ人工林収穫予想表等作成に関する基礎調査書(昭和55年3月 秋田県林務部) P. 161 地位級5を使用															
	<input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)																
<p>C.4 プロジェクトが実施されなかった場合の状態(ベースラインシナリオ)</p>	<p>C.4.1 ベースラインシナリオ(BLS)の特定</p>	<p>(プロジェクトが実施されなかった場合の状態(ベースラインシナリオ)の説明)</p> <p>○間伐促進型: 森林を適切な状態に保つために必要な間伐が 2010 年度以降に実施されていない状態。</p> <p>(ベースラインシナリオ特定に使用したデータの信頼性・入手可能性)</p> <table border="1" data-bbox="550 1523 1396 1724"> <thead> <tr> <th>データの信頼性・入手可能性</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 低い</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 低くない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	データの信頼性・入手可能性	説明	<input type="checkbox"/> 低い		<input checked="" type="checkbox"/> 低くない										
データの信頼性・入手可能性	説明																
<input type="checkbox"/> 低い																	
<input checked="" type="checkbox"/> 低くない																	

		(森林施業計画通りに施業を実施しない可能性に関する情報)						
		<table border="1"> <tr> <td>施業計画通りに実施しない可能性</td> <td>説明</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>可能性がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/>可能性がない</td> <td></td> </tr> </table>	施業計画通りに実施しない可能性	説明	<input type="checkbox"/> 可能性がある		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない	
		施業計画通りに実施しない可能性	説明					
		<input type="checkbox"/> 可能性がある						
<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない								
(プロジェクトの対象である森林が転用される可能性に関する情報)								
<table border="1"> <tr> <td>転用の可能性</td> <td>説明</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>可能性がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/>可能性がない</td> <td></td> </tr> </table>	転用の可能性	説明	<input type="checkbox"/> 可能性がある		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない			
転用の可能性	説明							
<input type="checkbox"/> 可能性がある								
<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない								
C.4.2BLS に 関連した温 室効果ガス 排出源・吸収 源の特定		(温室効果ガス排出源・吸収源)						
		<table border="1"> <tr> <td>温室効果ガス排出源・吸収源</td> <td>説明</td> </tr> <tr> <td>森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源</td> <td>地上部バイオマス、地下部バイオマス</td> </tr> <tr> <td>上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源</td> <td></td> </tr> </table>	温室効果ガス排出源・吸収源	説明	森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源	地上部バイオマス、地下部バイオマス	上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源	
		温室効果ガス排出源・吸収源	説明					
		森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源	地上部バイオマス、地下部バイオマス					
上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源								
リーケージに関しては、以下のリストから該当するものがあればボックスにチェックを入れること。また、チェックしたリーケージは、モニタリングプランにおいて定量化すること。								
<table border="1"> <tr> <td>リーケージの種類</td> <td>説明</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加</td> <td>該当なし</td> </tr> </table>	リーケージの種類	説明	<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加	該当なし	<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加	該当なし		
リーケージの種類	説明							
<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加	該当なし							
<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加	該当なし							

		<p>(温室効果ガス排出源・吸収源を特定するために使用した追加的な基準)</p> <table border="1" data-bbox="550 315 1394 510"> <thead> <tr> <th data-bbox="550 315 890 412">温室効果ガス排出源・吸収源 特定のための追加的な基準</th> <th data-bbox="890 315 1394 412">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="550 412 890 461"><input type="checkbox"/> 使用</td> <td data-bbox="890 412 1394 461"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="550 461 890 510"><input checked="" type="checkbox"/> 使用しない</td> <td data-bbox="890 461 1394 510"></td> </tr> </tbody> </table>	温室効果ガス排出源・吸収源 特定のための追加的な基準	説明	<input type="checkbox"/> 使用		<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない	
温室効果ガス排出源・吸収源 特定のための追加的な基準	説明							
<input type="checkbox"/> 使用								
<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない								
<p>C.5 排出量・ 吸収量の定 量化</p>	<p>C.5.1 不確か なデータの使 用</p>	<p>(吸収量の定量化における不確かなデータの使用)</p> <table border="1" data-bbox="550 703 1281 949"> <thead> <tr> <th data-bbox="550 703 805 799">不確かなデータの使 用</th> <th data-bbox="805 703 1281 799">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="550 799 805 893"><input type="checkbox"/> 使用する</td> <td data-bbox="805 799 1281 893">(不確かなデータを使用することによる吸収 量の過大評価がないことを説明すること。)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="550 893 805 949"><input checked="" type="checkbox"/> 使用しない</td> <td data-bbox="805 893 1281 949"></td> </tr> </tbody> </table>	不確かなデータの使 用	説明	<input type="checkbox"/> 使用する	(不確かなデータを使用することによる吸収 量の過大評価がないことを説明すること。)	<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない	
不確かなデータの使 用	説明							
<input type="checkbox"/> 使用する	(不確かなデータを使用することによる吸収 量の過大評価がないことを説明すること。)							
<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない								
<p>C.6 モニタリ ングプロット の設置</p>	<p>C.5.2 モニタリ ング対象とな らない排出 源・吸収源</p>	<p>(モニタリングプランを作成する上で、モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源が存在する)</p> <table border="1" data-bbox="550 1093 1394 1339"> <thead> <tr> <th data-bbox="550 1093 868 1240">モニタリング報告対象とな らないプロジェクト固有の排出 源・吸収源</th> <th data-bbox="868 1093 1394 1240">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="550 1240 868 1290"><input type="checkbox"/> 存在する</td> <td data-bbox="868 1240 1394 1290"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="550 1290 868 1339"><input checked="" type="checkbox"/> 存在しない</td> <td data-bbox="868 1290 1394 1339"></td> </tr> </tbody> </table>	モニタリング報告対象とな らないプロジェクト固有の排出 源・吸収源	説明	<input type="checkbox"/> 存在する		<input checked="" type="checkbox"/> 存在しない	
モニタリング報告対象とな らないプロジェクト固有の排出 源・吸収源	説明							
<input type="checkbox"/> 存在する								
<input checked="" type="checkbox"/> 存在しない								

C.7 備考		
--------	--	--

※1: ポジティブリストの条件を全て満たすことを、証拠書類等をもとに説明する。説明にあたっては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、巻末の添付資料一覧に整理すること。